

目的(総合計画)
 市内外へのアクセスを容易にすることで、円滑な交通体系を確立するとともに、人や物の交流を活性化させる

任務目的(係の目的)
 円滑な交通体系を確立するとともに、市民誰もが安全に安心して快適な移動ができるようにする

業務概要
 人や物の交流を活性化させるため、市内外のアクセス道路としての役割を果たす幹線道路の整備を促進するとともに、日常生活の安全性や利便性の向上を図るため、生活道路についても整備する。

2桁 大分類
 01 道路ネットワークの整備促進

4桁 中分類
 0101 整備計画の策定

0102 地域を結ぶ幹線道路の整備促進

0103 安全な生活道路の整備促進

0104 適切な道路の維持管理

0105 国・県管理道路の調整

99 その他業務

9901 その他業務

6桁 小分類
 0101 01 地元要望の精査

0101 02 幹線道路整備計画の策定

0101 03 生活道路整備計画の策定

0102 01 奈良野平川線(掛浜バイパス)工事

0102 02 赤土高橋線(掛浜バイパス)工事

0102 03 公文名富田線改良工事(地域活性化・生活対策交付金)

0102 04 牛淵谷田部線改良工事(地域活性化・生活対策交付金)

0102 05 堤奥之谷線(地域活性化・生活対策交付金)

0102 06 赤土歩道設置工事(地域活性化・生活対策交付金)

0102 07 その他市単独道路整備

0102 08 平坂線付替え工事(ヤマハ関連)

0102 09 古谷高橋原線他2路線舗装改築工事(地域活性化交付金)

0103 01 舗装改築・地元要望軽舗装工事

0103 02 地元補助工事

0104 01 道路維持補修工事

0104 02 街路照明灯維持管理業務

0104 03 街路樹剪定等維持管理業務

0104 04 橋梁調査業務

0105 01 県施行事業に伴う推進・調整(掛浜バイパス)

0105 02 県施行事業に伴う推進・調整(掛浜バイパス以外)

9901 01 防火水槽受託工事

9901 02 積算システム管理

9901 03 議会・監査対応

9901 04 予算作成

9901 05 条例等改正

9901 06 文書管理(ファイリング)

9901 07 行政評価事務

9901 08 課内庶務

業務棚卸表(個表)

総合計画	基本方針 (総合計画 P14~P17)	7.安心・便利・快適なまち【都市基盤】	平成22年度		作成日	平成22年5月21日
	施策の柱	3.道路ネットワークの整備促進 (総合計画 P88・P89)	部コード	40	部名	建設経済部
			課コード	41	課名	建設課
			シート	1/3	係名	整備係

目的・業務概要		管理指標	実績(H21)	目標	期限	困難度	職員配置	備考
目的 (総合計画)	市内外へのアクセスを容易にすることで、円滑な交通体系を確立するとともに、人や物の交流を活性化させる	市内外への移動に不満を感じていない人の割合	66.1%	58.7% (初年度実績)	23年度	—	正規4.0人 嘱託0.0人 臨時0.7人	
任務目的 (係の目的)	円滑な交通体系を確立するとともに、市民誰もが安全に安心して快適な移動ができるようにする	市道整備率	30.3%	32%	22年度	☆☆		
		市道舗装整備率	70.4%	71%	22年度	☆☆		
業務概要	人や物の交流を活性化させるため、市内外のアクセス道路としての役割を果たす幹線道路の整備を促進するとともに、日常生活の安全性や利便性の向上を図るため、生活道路についても整備する。	掛浜バイパス進捗率	30.4%	30%	24年度	☆☆		
		公文名富田線進捗率	100%	100%	22年度	☆☆		

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H21)	目標	期限	困難度	人工【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
01			道路ネットワークの整備促進	施行箇所実施率	100%	100%	22年度	☆	6,759	
	0101		整備計画の策定	適正実施率	100%	100%	22年度	☆	794	
		010101	地元要望の精査	処理期限	10月	10月	22年度	☆	688	
		010102	幹線道路整備計画の策定	策定期限	5月	5月	22年度	☆	53	
		010103	生活道路整備計画の策定	策定期限	12月	12月	22年度	☆	53	
	0102		地域を結ぶ幹線道路の整備促進	1・2級市道整備率	60.3%	60%	22年度	☆	3,255	
		010201	奈良野平川線(掛浜バイパス)工事	整備率	61%	61%	22年度	☆	646	
		010202	赤土高橋線(掛浜バイパス)工事	整備率	7%	7%	22年度	☆	625	
		010203	公文名富田線改良工事(地域活性化・生活対策交付金)	整備率	100%	100%	22年度	☆	181	
		010204	牛淵谷田部線改良工事(地域活性化・生活対策交付金)	整備率	50%	42%	22年度	☆	121	
		010205	堤奥之谷線(地域活性化・生活対策交付金)	整備率	57.14%	31%	22年度	☆	95	
		010206	赤土歩道設置工事(地域活性化・生活対策交付金)	整備率	78%	75%	22年度	☆	95	
		010207	その他市単独道路整備	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	830	
		010208	平坂線付替え工事(ヤマハ関連)	整備率	適正処理	適正処理	22年度	☆	530	
		010209	古谷高橋原線他2路線舗装改築工事(地域活性化交付金)	改築面積	3,680㎡	3,680㎡	22年度	☆	132	
	0103		安全な生活道路の整備促進	その他市道整備率	25.58%	26%	22年度	☆	1,126	
		010301	舗装改築・地元要望軽舗装工事	完了期限	3月	3月	22年度	☆	529	
		010302	地元補助工事	補助路線数	10路線	11路線	22年度	☆	597	

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H21)	目標	期限	困難度	人工 【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
	0104		適切な道路の維持管理	実施率	100%	100%	22年度	☆	1,334	
		010401	道路維持補修工事	完了期限	3月	3月	22年度	☆	802	
		010402	街路照明灯維持管理業務	完了期限	3月	3月	22年度	☆	120	
		010403	街路樹剪定等維持管理業務	完了期限	3月	3月	22年度	☆	200	
		010404	橋梁調査業務	完了期限	3月	3月	22年度	☆	212	
	0105		国・県管理道路の調整	適正実施率	適正処理	適正処理	22年度	☆	250	
		010501	県施行事業に伴う推進・調整(掛浜バイパス)	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	50	
		010502	県施行事業に伴う推進・調整(掛浜バイパス以外)	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	200	
99			その他業務	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	1,750	
	9901		その他業務	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	1,750	
		990101	防火水槽受託工事	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	622	
		990102	積算システム管理	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	648	
		990103	議会・監査対応	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	80	
		990104	予算作成	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	80	
		990105	条例等改正	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	80	
		990106	文書管理(ファイリング)	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	80	
		990107	行政評価事務	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	80	
		990108	課内庶務	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	80	

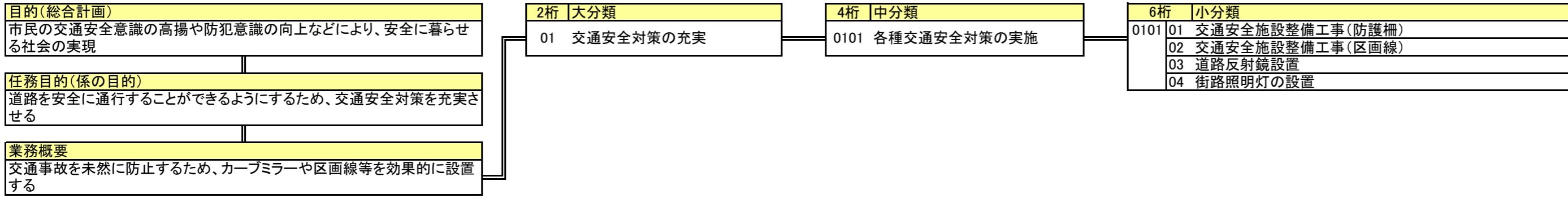
平成22年度 総括表

所属	建設経済部建設課整備係	係 表番号	1/3	内 線	1511				
総合計画の位置付け									
基本方針:安心・便利・快適なまち【都市基盤】 施策の柱:3.道路ネットワークの整備促進									
	目 的	総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目 標	期 限
	市内外へのアクセスを容易にすることで、円滑な交通体系を確立するとともに、人や物の交流を活性化させる	市内外への移動に不満を感じていない人の割合	61.2%	66.1%				58.7% (初年度実績)	23年度
任 務 目 的	円滑な交通体系を確立するとともに、市民誰もが安全に安心して快適な移動ができるようにする	市道整備率	30%	30.3%				32%	21年度
		市道舗装整備率	70.1%	70.4%				71%	21年度
業 務 概 要	人や物の交流を活性化させるため、市内外へのアクセス道路としての役割を果たす幹線道路の整備を促進するとともに、日常生活の安全性や利便性の向上を図るため、生活道路についても整備する。	掛浜バイパス進捗率	21%	30.4%				30%	24年度
		公文名富田線進捗率	95%	100%				100%	21年度
【総合計画等指標の動向(現状分析)】									
「市内外への移動に不満を感じていない人の割合」が増加傾向にある。これは、県道改良が進んできていることから、人や物の交流が活性化していること、市道公文名富田線の計画区間完成によるもの、舗装改築により走行性が向上した結果と考える。また、市道における円滑な交通体系の確立を目指し、限られた財源のなかで計画的に整備を進めているが、市道整備率及び舗装整備率においては目標達成は難しいと考える。なお、主要事業である掛川浜岡線バイパス事業においては整備が順調に進んでいる。									
【前年度からの改善措置】									
緊急経済対策事業により今まで事業進捗が遅れていた市道牛湫谷田部線道路改良や市道赤土線歩道整備、市道内田加茂線歩道設置、横地本線歩道橋設置、公文名富田線改良工事が進められている。また、生活道路について地元調整を早期に行い整備を進めている。									
【次年度改善措置】									
引き続き、主要事業である掛川浜岡線バイパス事業については整備目標年度に完成するよう関係機関と調整を行いつつ、整備を進めていく。なお、生活道路についても、必要な整備を進め、円滑な交通体系の確立を目指す。									

業務体系図(ロジックツリー図)

作成担当

建設経済部 建設課 整備係 (2/3)



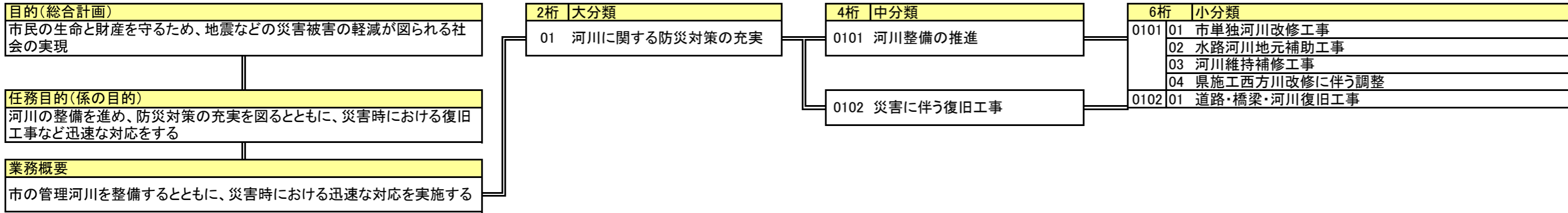
平成22年度 業務棚卸表(総括表)

所属	建設経済部建設課整備係	係 表 番 号	2/3	内 線	1511			
総合計画の位置付け								
基本方針:7.安心・便利・快適なまち【都市基盤】 施策の柱:3.交通安全の推進及び公共交通の整備(総合計画 P92・P93)								
目 的	総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目 標	期 限
市民の交通安全意識の高揚や防犯意識の向上などにより、安全に暮らせる社会の実現	市内交通事故件数	369件	395件				343件	23年度
	安全に道路を通行することができると思う人の割合	53.8%	57.60%				52.4% (初年度実績)	23年度
任務目的	道路を安全に通行することができるようにするため、交通安全対策を充実させる	採択率 (施行箇所/要望箇所)	81.60%	56%			60%	21年度
業務概要	交通事故を未然に防止するため、カーブミラーや区画線等を効果的に設置する	実施率	100%	100%			100%	21年度
【総合計画等指標の動向(現状分析)】								
市内での交通事故件数は前年に比べ増加している。事故の内容を精査し安全に暮らせる社会の実現に向けて交通安全対策の強化を図る。								
【前年度からの改善措置】								
高齢者による事故防止のため市内の区画線や矢印等が消えている箇所を引き直しをしている。また、道路の縁石部には反射材や自発光式反射材を設置して夜間でも縁石がわかるように対策をしている。								
【次年度改善措置】								
交通事故件数を減らすため、事故内容を精査して道路に起因するものを改善していく。また、道路標識や区画線の設置、車両の速度を減速させる表示を行い、安全に走行する働きかけをする。歩行者の安全確保のため通学路にはグリーンベルトなどの表示を行い車両に注意を促す。								

業務体系図(ロジックツリー図)

作成担当

建設経済部 建設課 整備係 (3/3)



業務棚卸表(個表)

総合計画	基本方針 (総合計画 P14~P17)	7.安心・便利・快適なまち【都市基盤】	平成22年度		作成日	平成22年5月21日
	施策の柱	6.防災・防犯対策の強化促進(総合計画 P94・P95)	部コード	40	部名	建設経済部
			課コード	41	課名	建設課
			シート	3/3	係名	整備係

目的・業務概要		管理指標	実績(H21)	目標	期限	困難度	職員配置	備考
目的 (総合計画)	市民の生命と財産を守るため、地震などの災害被害の軽減が図られる社会の実現	まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合	54.9%	50.0% (初年度実績)	23年度	—	正規0.9人 嘱託0.0人 臨時0.2人	
任務目的 (係の目的)	河川の整備を進め、防災対策の充実を図るとともに、災害時における復旧工事など迅速な対応をする	水害による人的被害者数	0人	0人	22年度	☆☆		
業務概要	市の管理河川を整備するとともに、災害時における迅速な対応を実施する	適正実施率	100%	100%	22年度	☆		

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H21)	目標	期限	困難度	人工 【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
01			河川に関する防災対策の充実	適正実施率	100%	100%	22年度	☆	1,888	
	0101		河川整備の推進	適正実施率	100%	100%	22年度	☆	1,888	
		010101	市単独河川改修工事	施工延長	76m	86m	22年度	☆	649	
		010102	水路河川地元補助工事	補助件数	2件	2件	22年度	☆	605	
		010103	河川維持補修工事	施工延長	16m	16m	22年度	☆	634	
		010104	県施工西方川改修に伴う調整	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	0	
	0102		災害に伴う復旧工事	適正実施率	100%	100%	22年度	☆	0	
		010201	道路・橋梁・河川復旧工事	適正処理	適正処理	適正処理	22年度	☆	0	

平成22年度 業務棚卸表(総括表)

所属	建設経済部建設課整備係	係 表番号	3/3	内 線	1511				
総合計画の位置付け									
基本方針:7.安心・便利・快適なまち【都市基盤】 施策の柱:6.防災・防犯対策の強化促進(総合計画 P94・P95)									
	目 的	総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目 標	期 限
	市民の生命と財産を守るため、地震などの災害被害の軽減が図られる社会の実現	まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合	51.2%	55%				50.0% (初年度実績)	23年度
任務目的	河川の整備を進め、防災対策の充実に努めるとともに、災害時における復旧工事など迅速な対応をする	水害による人的被害者数	0人	0人				0人	21年度
業務概要	市の管理河川を整備するとともに、災害時における迅速な対応を実施する	適正実施率	100%	100%				100%	21年度
【総合計画等指標の動向(現状分析)】									
「まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合」については、増加傾向にある。しかし、河川に関する現状を鑑みれば、河川整備計画や近年増加しているゲリラ豪雨等に対する対策の検討推進が必要であると考えます。									
【前年度からの改善措置】									
県管理河川である西方川改修工事の調整や市単独河川改修工事など市民の安心安全を図るための事業を計画的に推進している。なお、地域に密着した水路や河川の改修についても、限られた財源のなかで、計画的に推進している。									
【次年度改善措置】									
島の川や奈良野排水対策について早期に対応をはかる。また、ゲリラ豪雨対策について国、県から情報を集め、近隣市などの対策状況を収集し、河川への雨水流入を抑制するための補助要綱について検討する。									